

# ベーシックMAXを活用して志望校合格を果たした先輩達からキミへの激励メッセージ!!

5割レベルだったセンター模試の得点が本番で9割～満点に！

大阪大学 外国語学部 大阪府立岸和田高校 天野 翔也 君

センター模試で、最初5割レベルだった僕が、本番で9割～満点が取れ、2次試験への自信を持てたのはベーシックMAXのおかげです。ベーシックMAXはとにかくわかりやすく概念を伝えてくれるので、受験勉強に必要な学力の土台がしっかりとできました。高1のうちから入試の土台固めができる事は、合格への大きなアドバンテージになります。

また、受講中や復習時にはとにかく書くようにしました。授業を見ているだけより、書くことで定着が良くなりました。さらに「音読」と「書くこと」と一緒にやれば、その力は数倍となり、本番で発揮されると思います。

センター重視の志望校なら、ベーシックMAXで基礎の徹底が勝利への道

埼玉大学 教育学部 埼玉県私立開智高校 守屋 春輝 君

学校の進度に合わせて勉強しやすいベーシックMAXを受けました。ベーシックMAXでの学習のコツは、例えば数学なら、例題解説授業を受講し終えた直後に例題をもう一度解き直すことです。ただ授業を受けただけでは力にはならないと思います。僕は家に帰ってしまうとなかなか勉強がはかどらないので、塾に来た時に勉強した内容を定着させてしまうよう心がけていました。その結果、学校から出される数学の課題も楽にやれました。

僕の志望大学は、センター試験の配点比率が高く設定されていました。センター試験で望む結果を出すためには「基礎に徹した勉強をする」と「勉強量をこなす」ことが大切です。国公立大学でセンター試験の配点比率の高い大学を目指す皆さんは是非参考にしてください。

飛ばさずにすべてきちんと受講すること  
それが合格へと導いてくれる

立命館大学 経済学部 富山県立富山高校 坂井 春奈さん

物理・化学ともかなり苦手だったので、ベーシックMAXで基礎から学習しました。特に化学は抜けていた知識や理解を埋めることができました。基礎を固めた後に問題集で基礎レベルの問題を解き、学習項目の定着を図りました。わからない所があれば、もう一度授業を受けたりしました。その繰り返しで、模試の得点が20点以上上がりました。おかげで自信がつきました。

受講する時は、学校で習ったとか、わかったと思っているところも含めて、すべてきちんと受けるべきです。知っていると思っていて意外と理解できていなかった内容がきちんと理解し直せたり、問題の解き方を教えてもらったり、など必ず役に立つことがあるからです。わかったつもりで終わらせず、全てしっかり受講することが合格へと結びつきます。皆さんもベーシックMAXを信じて頑張って下さい。

## ベーシックMAX「受講生の声」

声を参考にキミもベーシックMAXをフル活用して志望大学合格を！

学校の予習に使える！

高1(部活生)@志望大学▶埼玉大学  
数学、理科、社会の予習に使い、学校の授業でおさらいく感じで使っています。テスト前に時間の余裕ができたので点数も上がりました！

高2(部活生)@志望大学▶京都大学  
ベーシックMAXは、学校の授業の予習、復習に最適で、自分の苦手な部分を克服するのにも効果的。

高2@志望大学▶早稲田大学  
数学の苦手な私でしたが簡単でわかりやすい授業なので特に予習に活用すると理解も深まります。おススメです！

高3@志望大学▶千葉大学  
主に学校の予習として活用し、学校の授業の理解度が良くなりました。特に化学と数学の成績が上がりました！

高1(部活生)@志望大学▶北海道大学  
繰り返し何度も受講でき、細かく説明してくれるのでとてもわかりやすく、最近成績が上がりました！

高1(部活生)@志望大学▶島根大学  
テスト前にわからなかった問題がありました。講師の先生の説明を聞いたらわかるようになって、テストに実際にそのような問題が出てきて解けました！

高2@志望大学▶上智大学  
私は日本史がすごく苦手で、ベーシックMAXの日本史を始めから一気に全部受けて流れをつかめました。テスト前に倍速で受けることも。

高3(部活生)@志望大学▶同志社大学  
苦手意識のある教科のセンターの基礎固めとして使っています。隙間時間を利用して単元ごとに受講できるのが魅力です。

高1@志望大学▶茨城大学  
短時間で復習ができるので、さっと見直すとテストの結果が全然違います！

高2@志望大学▶東北大学  
復習の時は倍速で受講すると、1つの単元が1～2時間でおさらいできるのでとても便利だと思います。

高2(部活生)@志望大学▶広島県立大学  
部活動を掛け持ちしている、時間がない中でも倍速受講で時間短縮もでき、更にテストで出やすい部分も教えてくれるので本当に助かっています！授業が楽しく苦手意識がなくなりました！

高3(部活生)@志望大学▶上智大学  
高1・2の人のみならず、基礎を1からやり直したいという人には1コマ20分程度で、時短で学べて良いです。

高1@志望大学▶早稲田大学  
自分が受けたい教科の単元や内容の難しさなど、たくさんある種類の中から自分に合うものを選べて良いです。

高3(部活生)@志望大学▶明治大学  
学校の予習に使うのはもちろんですが、苦手な単元を集中的に復習するのにも最適です。忘れた解法もコレで再確認できます。

高3@志望大学▶宇都宮大学  
弱点克服に、「わからない→受講→実践→克服」が可能。完全に理解できるまで何度でも受講できるのがステキです！

高3@志望大学▶東京理科大学  
自分がわからないところだけをチョイスして受講できるので、復習が効率的にできます。

テスト対策に！

時短！

映像だから便利！

## ベーシックウイング 英文法

早くマスターするほど定期テストにもセンター試験にも有利

英文法は英語のルールです。そのルールがマスターできれば、その後は加速度的に得点力が伸びます。だから、英文法は早くマスターすればするほど有利になります。ベーシックウイングでは、**英文法を「例題」「練習問題」「演習問題」の3ステップで学習します。** ルールの説明だけではなく“なぜそうなるのか”という「考え方」にこだわります。ですから、英文法の基礎の理解がより確実になり、応用問題や英文読解などに必要な思考過程を身につけることができます。その結果、**定期テストで高得点が狙え、さらに、その積み重ねがセンター試験での高得点獲得へとつながっていきます。**



### 「わかる」をしっかり ~英文法の基礎を理解する~ 例題解説授業

英文法の基礎を解説する授業です。受講中は、講師の板書したことは漏らさずノートに書き写し、また板書はなくとも講師の説明で重要なところはノートに書きとめましょう。「英文法はルールだから暗記すればいい。」ではなく、「英文法を理解する」ことが大切です。それにより、**大学入試で活きる英語力の基礎が身につきます。**センター試験を始め、大学入試で合格ラインを突破するためにも、この最初の「英文法の理解」を例題解説授業でしっかりと積み重ねていきましょう。この授業は予習の必要はありません。

### 「わかる」から「解ける」へ ~英文法の基礎を定着させる~ 練習問題解説授業

英文法の基礎を定着させるための授業です。例題で基礎を学習して、「わかった」内容を定着させるための学習をしないと得点にはなかなか結びつきません。学力はインプットだけでなくアウトプットすることにより定着します。この練習問題解説授業は「わかる」を「解ける」に定着させるための授業です。**例題の類題である練習問題を解き、その解説授業を受講することにより曖昧な記憶が確実なものとなります。**解けた問題も、解説は飛ばすことなくしっかりと受講し、ポイントはノートに書きとめていきましょう。これにより、英文法の基礎が鮮明に記憶に定着します。さらに、各単元に「タスクテスト」(確認テスト)がついていますので、しっかりと定着できているかチェックできます。間違った問題や不安な箇所は映像授業を見直しましょう。

### 「解ける」から「点になる」へ ~入試基礎力を確実にする~ 演習問題解説授業

例題・練習問題で学習した英文法を総復習するための授業です。例題・練習問題に比べ、やや難度の高い演習をおこないます。センター試験を始めとした、入試基礎レベルの問題に対応できる実戦力が身につきます。

「わかる」をしっかり  
「例題解説授業」

「わかる」から「解ける」へ  
「練習問題」+「練習問題解説授業」

「解ける」から「点になる」へ  
「演習問題」+「演習問題解説授業」

## ベーシックウイング 英語重要構文 構文の知識を増やし、解釈力を高める

英語構文の知識を増やすことは、そのまま英文解釈力を高めることになります。英語構文の学習で大切なことは、各構文の要素となっている英文法を理解することです。

ベーシックウイングでは、**英語構文と英文法を関連づけながら授業を進めています。**

構文力を高めるだけでなく、英文法を確実に定着させるための格好の復習にもなります。

### ベーシックウイング 英文解釈

### 英文精読力をマスターする

英文法・英語構文をマスターしたら、いよいよ英文解釈です。  
では、ここで次の問い合わせてみましょう。

「彼がより多くの情報を必要とするならば、利用可能なたくさんの本がある。」  
という意味にするために、下の( )に何を入れますか？  
( ) he need more information, there are many books available.

条件の「If」と「he needs」でなければならないし、仮定法の「Had」と「he needed」のはず。正解は「Should」です。  
仮定法の「If he should need」の文の変形として「Should he need」という形があることを知っておく必要があります。

では、以下の問い合わせたらどうでしょうか？

次の英文を訳してください。  
Should he need more information, there are many books available.



このように、同じ英文が和訳の問題として出題されるることはよくあることです。「Should + S + V.」の形（「？」についていない）なので、疑問形の訳にしてはいけないです。

先程の知識があれば仮定法として認識でき、「…ならば～」と訳すことができます。これが**「英文解釈」**です。

このように訳せるには、**英文法・英語構文の知識が必要です。**

このように、英文を文法的・構文的に正しく読む力を**「英文精読力」といいます。**

「英文精読力」をマスターすると、後に続く英文を予測しながら読むことができるようになるため、  
**英文が速く読めるようになります。**

ベーシックウイング英文解釈では、「句、節」というカタマリが文の中でどんな役割をしているのか、  
それを文法的・構文的に正しく判断しながら英文が読めるよう、ステップを踏んで学習します。英文法、英語構文は、  
ともに英文解釈のための土台です。この土台をしっかりと固めることが、英文解釈力を高めるコツです。

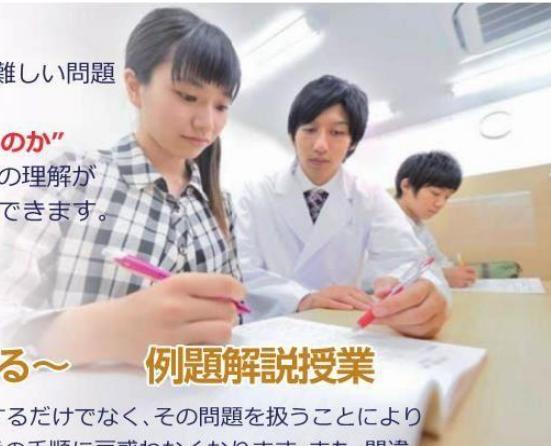
# ベーシックウイング 定期テストで高得点！

高校数学は、中学に比べ内容が格段に難しくなります。

教科書の公式や例題の理解が不十分な状態で、教科書傍用問題集や参考書の難しい問題をいくら解いても学習効果はなかなか上がりません。

ベーシックウイングは、問題の解法を説明するだけでなく、「なぜこう考えるのか」という「考え方」にこだわります。ですから、教科書の公式・例題といった基礎の理解がより確実になり、さらに応用問題を解くための思考過程を身につけることができます。

結果、定期テストで高得点が狙え、さらに、その積み重ねがセンター試験での高得点獲得へつながっていきます。



## 「わかる」をしっかり～教科書の基礎を理解する～ 例題解説授業

教科書の公式・例題レベルの問題の解説授業ですが、「扱っている1問」の解法を解説するだけでなく、その問題を扱うことにより他の問題への糸口も示しています。ですから、角度を変えた問題が出題されても、思考の手順に戸惑わなくなります。また、間違えた問題は、講師が解説した内容をなぞりながら解き直すと効果も倍増します。また、特に数学は、学校の進度にカリキュラムを合わせ、予習として受講すれば、学校の授業の理解度が深まります。この授業は予習の必要はありません。

## 「わかる」から「解ける」へ～教科書の基礎を定着させる～ 練習問題解説授業

例題で基礎を学習して、「わかった」内容を定着させるための学習をしないと、得点にはなかなか結びつきません。学力はインプットだけでなくアウトプットすることにより定着します。この練習問題解説授業は「わかる」を「解ける」に定着させるための授業です。例題の類題である練習問題を解き、その解説授業を受講することにより曖昧な記憶が確実なものとなります。解けた問題も、解説は飛ばすことなくしっかりと受講し、ポイントはノートに書きとめていきましょう。これにより、数学の基礎が記憶に定着します。各単元に「タスクテスト」(確認テスト)がついていますので、しっかりと定着できているかチェックできます。間違った問題や不安な箇所は映像授業を見直しましょう。

部活等で時間のとれない人は、「例題解説授業」のみで学校の予習を進めましょう。(「練習問題」+「練習問題解説授業」は、予習やテスト勉強に可能な範囲で活用しましょう。)

「わかる」をしっかり  
「例題解説授業」で学校の予習

「わかる」から「解ける」へ  
「練習問題」+「練習問題解説授業」

学校の授業がよく「わかる」!  
課題がスイスイ「解ける」!

## 「解ける」から「点になる」へ～定期テスト高得点の総仕上げ～

### 定期テスト対策演習解説授業 (数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・Bに設置)

定期テスト対策演習解説授業は得点力を磨くための講座です。この講座は、**それぞれの単元の頻出問題で構成**されています。

問題のレベルは「標準」と「応用」の**2レベル**に分かれています。学校で出題される問題レベルに合わせて受講してください。

また、定期テスト対策演習ではその解法を知らないと解けないと解けないと解けない問題を多数扱っています。この授業では、その解法をわかりやすく解説します。**定期テスト2週間前からテスト範囲の授業を集中受講**しておけば、その後に学校で使っている問題集も、スムーズに解けるようになります。

「解ける」から「点になる」へ  
「定期テスト対策演習問題」+「演習問題解説授業」

定期テストで「高得点」!

# ベーシックウイング

# 定期テストで高得点！

高校の理科の教科書には、たくさんの用語や公式が登場しますが、表面的な理解や単なる暗記では、問題を解けるようにはなりません。

ベーシックウイングは、教科書の用語・公式を丁寧にわかりやすく解説します。用語・公式がしっかりと理解できれば、その後の問題演習はスムーズに進み、定期テスト、センター試験で高得点が取れるようになります。

また、ベーシックウイングは、学習テーマが細かく分かれているため、学校の授業が、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」を同時進行で進めるような場合にも、柔軟に学校の授業内容に合わせて学習を進めることができます。



以下の用語をわかりやすく説明できますか？

「気体の内部エネルギー」 「アボガドロの法則」 「減数分裂」 「海嶺と海溝」  
(物理) (化学) (生物) (地学)

**熱力学の第一法則**

**重要**  
「気体の内部エネルギー」  
=「気体分子の運動エネルギーの総和」

気体の内部エネルギーは、  
絶対温度に比例

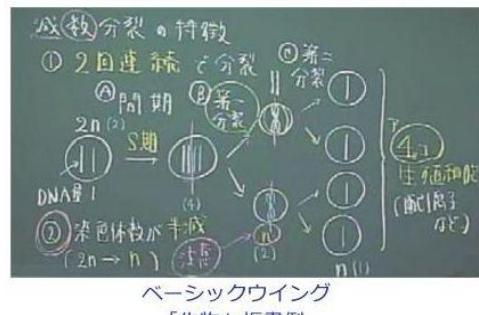
ベーシックウイング  
「物理」板書例

$\Delta U = Q + W$

$\Delta U = Q - W$

$Q: 気体が吸収した热量$   
 $W: 気体が外部に対して行った仕事$

$$\begin{cases} \Delta U > 0 : \text{絶対温度は上昇する} \\ \Delta U = 0 : \text{変化しない} \\ \Delta U < 0 : \text{絶対温度は下降する} \end{cases}$$



## 「わかる」をしっかり～基本法則を理解する～

### 例題解説授業

教科書に登場する用語や公式を理解するための講座です。ベーシックウイングは、受講生の理解を手助けするために、板書する「図表・まとめ」にもこだわっています。しっかりとノートに書きとめましょう。

定期テスト高得点を目的として受講する場合、学校の授業の予習として受講すると効果的です。学校の授業の理解度が深まり、課題もラクにこなせ、定期テストで高得点が取れます。この授業は予習の必要はありません。

## 「わかる」から「解ける・点になる」へ～得点力を高める～

### 練習問題解説授業

用語・公式を理解することがまずは大事ですが、それだけでは問題は解けません。問題の解法をマスターする必要があります。ベーシックウイングの練習問題解説授業では、定期テスト頻出問題を扱いその解法を講義していきます。練習問題を完全に解けるようにすれば、定期テストで高得点が取れます。

「わかる」をしっかり

「例題解説授業」で学校の予習

「わかる」から「解ける」  
「点になる」へ

「練習問題」+「練習問題解説授業」

学校の授業がよく「わかる」!  
課題がスイスイ「解ける」!  
定期テストで「点になる」!



## ベーシックウイング 定期テストで高得点！

地歴公民は、記憶した知識の量がそのまま得点力になります。でも、暗記は苦手という人も多くいるかと思います。記憶のコツは「理解」と「まとめ」です。理解され、まとめられた知識はラクに記憶でき忘れません。

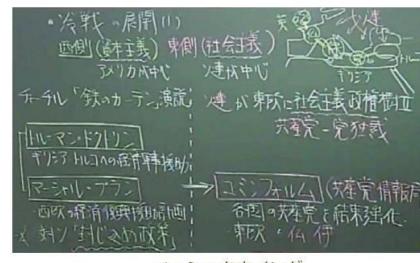
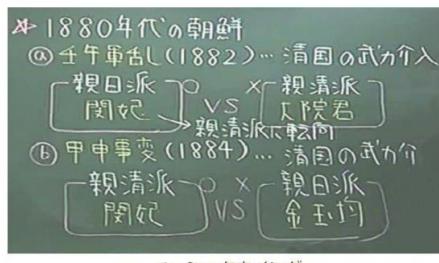
ベーシックウイングの授業では、記憶すべき知識をみんなが理解し、まとめることを手助けしていきます。特に、板書する「図表・まとめ」にこだわっています。

ベーシックウイング受講後から、記憶することをスタートさせれば、効率的に知識を記憶していくことができます。



ベーシックウイングで  
「理解」と「まとめ」

知識がラクに「記憶できる」!  
記憶した知識は「忘れない」!



### 「わかる」をしっかり～知識を理解し、まとめる～

(例題解説授業)

教科書の登場する重要な知識を理解し、まとめるための授業です。定期テスト高得点を目的として受講する場合、学校の授業の予習として受講すると効果的です。ベーシックウイングは、学習テーマが細かく分かれているため、学校の授業と連動させやすく、ベーシックウイング→学校の授業と反復することによりいつでも記憶に定着させることができます。

### 「わかる」から「解ける・点になる」～問題演習で知識を定着させる～

(練習問題解説授業(国語))

(確認問題(地歴公民))

例題で学習した知識を定着させるためには問題演習が有効です。ベーシックウイングには、それぞれの例題解説授業に対応して、国語は練習問題とその解説授業が、地歴公民は確認問題があります。受講直後に練習問題・確認問題が解けるかどうかをチェックしてみましょう。記憶できているものとできないものの判別ができます。この段階から記憶学習をスタートさせることで効率よく、「解ける」「点になる」ための学習を進めていくことができます。

「わかる」をしっかり

「例題解説授業」で学校の予習

「わかる」から「解ける」  
「点になる」へ

「練習問題」+「練習問題解説授業」  
または「確認問題」

学校の授業がよく「わかる」!  
課題がスイシイ「解ける」!

定期テストで「点になる」!